

# 令和5年度 市政懇談会

行政管理課広報統計係 ☎0824-73-1159



市が行う施策や事業に対し、市民の皆さんから意見を伺う市政懇談会を8月22日～9月7日に開催しました。市内9会場で開催し、各自治振興区の役員を中心に、延べ337人の皆さんに参加をしていただきました。参加者の皆さんには、貴重な意見をいただき、ありがとうございました。皆さんから寄せられた提案や意見などは、今後の施策に生かしていきます。

## 市政懇談会の概要

本年の市政懇談会は、市が設定した「庄原いちばんづくり」10年先を見据えた「まちづくり」と、庄原市自治振興区連合会から提案された「地域包括ケアシステムについて」の2つのテーマで懇談・意見交換を行いました。前半は、市の懇談テーマである庄原いちばんづくりの概要や、これまでの10年間の取り組み実績、令和5年度の新規拡充事業、そして10年先を見据えた「まちづくり」についての説明を行い、その後、意見交換を行いました。後半は市から地域包括ケアシステムの概要、自治振興区から地域の特徴ある取り組みなどについて、それぞれ説明を行った後、意見交換を行いました。

## 市政懇談会での質問・意見

市政懇談会で寄せられた質問・意見を抜粋してお知らせします。

### 庄原いちばんづくり

**Q** 説明の中で、林業施策にも触れられたが、森林環境譲与税の活用をどのように考えているのか。  
**A** 本市の豊富な森林資源を守り、育て、活用する「儲かる循環型林業」の実現に向け、本年度より「植栽から保育施策」までの山主負担を、大幅に軽減するため補助事業を拡充しました。また来年度操業予定の製材工

**Q** 市内にもっと公園があれば、親や子ども同士がコミュニケーションを取りやすい環境になるのではないかと。  
**A** 本年度から子どもたちを中心に幅広い世代が集い、過ごすことのできる場の整備に向け、ご意見を参考に検討を進めます。



**Q** 少子化対策をどのように進めていくのか。  
**A** 市は、おとしから人口減少対策戦略本部会議を組織し、少子化や人口減少の抑制に寄与する取り組みを検討・実施しています。その一つとして、本年度から乳幼児などの医療費助成の拡充を行いました。引き続き、本部会議を中心に10年先を見据えた施策を検討していきます。

**Q** 人口減少対策として、若い人の流出を防ぐことが大事だと思

**Q** 市内の高校生や大学生が、少しでも庄原市に残ってくれるようなまちづくりに取り組んでもらいたい。

**A** 本年度から県立広島大学との連携を強化し、学生と意見交換などを行う予定です。大学生や高校生など若い世代の人の意見を聞きながら、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりに取り組んでいきます。

**Q** コンパクト・プラス・ネットワークはどのようなものなのか。

**A** コンパクト・プラス・ネットワークとは、国が2050年を見据えた国土づくりの理念や考え方を示したもので、市民の利便性の向上を目的に、医療・福祉・商業などの生活サービス施設を集約し、公共交通などで、各拠点や施設をつなぐまちづくりの考え方です。

**Q** コンパクト・プラス・ネットワークは、都市計画区域内に、商業施設などを集約する計画になっているが、その他の地域は利便性が悪くなるのではないかと。

**A** この計画は商業施設や医療施設などがないよう、市街地の人口密度を維持するものです。今ある施設を維持し、市民の皆さんが利用し続けられるよう、まちづくりを進めていきます。



**Q** 庄原の産業といえば農業、その中でも水稲はとても大事である。大規模農家への支援が中心になっていると思うが、小規模農家への対応をどのように考えているのか。  
**A** 小規模農家への支援として、がんばる農業支援事業などの施策を推進しています。国に対しても、小規模農家の皆さんに、しっかりと目を向けていただくよう、要望を行っていきます。

**Q** 公営住宅は、老朽化が進んでいる施設が多くあるが、公営住宅の整備は、どのように進めているのか。

**A** 市は公営住宅等長寿命化計画を策定し、老朽化した住宅の建て替えなどを行っています。現在は、市内2カ所建て替えを実施しており、この計画に基づき改修などを進めています。

## 地域包括ケアシステム

**Q** 認知症になった人を家族あるいは地域で支えていくのが困難な場合がある。そういった時に支援がで

**A** 市の包括支援センターでは、本人の意思や家族の希望、経済的なことも含めて相談・支援を行っています。状況により支援はさまざまですので、その人に合った支援となるよう対応しています。

**Q** 地域では高齢者のみの世帯が増えている。認知症の一人歩きなどもあり、地域がこわいといった世帯にどこまで関わってよいか分からない状態である。

**A** 市は、本庁と各支所に包括支援センターを設置しています。包括支援センターでは、認知症などの困りごとの相談やその家族への支援など、専門の職員が対応していますので、ご相談ください。

**Q** 地域包括ケアシステムは高齢者大人まで、お互いに支え合うことが本

**A** 地域包括ケアシステムとは、地域全体での支え合いづくりを指します。これを進めるに当たり、地域

## 最後に

市政懇談会の最後に、木山市長は次のとおりまとめました。

今回の市政懇談会では、市の人口減少が進む中、まちづくりをどのように進めていくか、これを市だけでなく地域の皆さんと議論し、共有しながら進めていきたいと思いい、今回のテーマを提案させていただきました。

庄原市の人口は減少していますが、移住・定住者増加に向け、市の制度を活用し、各自治振興区でもさまざまな取り組みが行われ、実績が上がっている状況もあります。

人口減少・少子高齢化対策は、大きな課題であります。市と市民が協力していくことで、人口減少を抑制することができると考えています。

人口減少対策は「来年・再来年から始めればよい」ということではなく、少しでも早くから着手するという姿勢で、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方も頭に入れながら、これから取り組んでいきたいと考えています。

今後も市民の皆さんと一緒に誇れるまちづくりに努め、庄原いちばんづくりを進めていきたいと思いい、よろしくお願ひします。